

財団法人まちみらい千代田
平成23年度第1回理事会議事録

1 日 時

平成23年5月27日（金） 午前10時から午前11時10分

2 場 所

ちよだプラットフォームスクウェア5階501～502会議室

（千代田区神田錦町3-21）

3 理事現在数 14名

4 出席者

（1）出席者（9名）

若林尚夫、小池譲二、大畠康平、小嶋勝衛、齋藤潔、
末川文昭、高橋容、林勇、堀田康彦

（2）委任状提出者（5名）

宗廣信、高木茂、高橋正人、高橋陽子、師岡文男

5 議 題

（1）議案第1号 平成22年度財団法人まちみらい千代田事業報告について

（2）議案第2号 平成22年度財団法人まちみらい千代田収支決算について

（3）議案第3号 財団法人まちみらい千代田評議員の選任について

6 開会、挨拶、定足数確認、議事録署名人の選任

開会に先立ち、理事及び監事に交代があり、大畠康平理事、高橋容理事、金井義之監事が新たに就任した旨の報告がなされた。

定刻に至り、若林理事長より開会の挨拶があり、その後寄附行為第26条の規定により、若林理事長が議長となり、開会を宣言した。

引き続き、議長が本日の出席者について事務局から報告をさせ、寄附行為第27条の規定で定める定足数を満たしていることを確認し、本理事会が有効に成立している旨を告げた。

続いて、本理事会の議事録署名人として、末川文昭理事と堀田康彦理事の2名を指名したい旨を諮ったところ、満場一致の賛成があったので、両理事を指名し、本人もこれを承諾した。よって、議案の審議に入った。

7 議事の経過及び結果

(1) 議案第1号 平成22年度財団法人まちみらい千代田事業報告について

(2) 議案第2号 平成22年度財団法人まちみらい千代田収支決算について

議案第1号及び議案第2号は相互に関連があるので、これを一括して審議したい旨を諮ったところ、全員異議なく了承した。

配付資料に基づき、事務局から次のような説明を行った。

22年度は、事業の柱を「住宅まちづくり」「区民住宅の供給」「産業まちづくり」「普及啓発」の4つとし、事業の推進を図った。

まず「住宅まちづくり」では、マンションの良好な維持管理の支援の一環として、千代田区マンション理事長連絡会を45名加入の下、発足式を行い、同時に記念講演会を開催した。また、マンションの計画修繕調査費助成・建替え等の検討調査費助成を継続した。マンション管理組合の活性化支援として、地域との良好なコミュニティが形成されるよう、富士見地区自主防災訓練へ参加できるよう普及啓発を行い、交流を支援した。良好な居住環境の整備促進がなされるよう、再開発・共同建築の促進として2地区・1棟、アドバイザーの派遣を4件行った。

「区民住宅の供給」では、これまで通り区の補助事業として民間の賃貸住宅を一括して借り上げ、合計152戸の管理運営業務を行った。

「産業まちづくり」の分野においては、優良中堅企業への成長支援としてマネジメントサポートデスクを設置し、28件の相談内容に応じた公的機関の支援策を紹介した。また、東京都中小企業振興公社と連携した専門家派遣事業では7社延べ49回の派遣を支援した。当財団は同公社より地域応援ナビゲータの認定を受けており、4社のハンズオン支援を行い、内2社が助成採択を受けた。3回目となる千代田ビジネス大賞では千代田区のイメージアップ、ブランドアップに貢献した企業を千代田区長賞として、新たに表彰した。プラットフォームスクウェアを拠点とする地域産業の活性化として、プラットフォームスクウェア5階会議室を区内中小企業の振興を図ることを主な目的に引き続き提供した。また、2階に設けている市町村サテライトオフィス東京は好評を博し、現在10団体が入居しており、今後4団体の入居が予定されている。SOHO 事業者・ベンチャー企業の支援として、第1期千代田ビジネス起業塾を開講した。この講座には13名が参加し、千代田ビジネス大賞の各賞を受賞した企業の経営者の講和や企業訪問等、全6回のカリキュラムを組み、起業に直接役立つ内容とした。

「普及啓発」においては、地域活性化の支援として実績のある千代田まちづくりサポートを実施し、14グループの活動が助成対象となった。また、地域交流等の実施として外国人との文化交流や街道文化講座を行ってきたが、一定の役割を果たせたと考えているので、22年度をもって終了する。千代田区さくら基金の管理に

においては、例年同様さくら再生事業や普及啓発事業への助成を行った。賛助会員の拡大と交流促進においては、賛助会員を対象としたまちづくり見学ツアーを計画したが、残念ながら参加者の応募がなかったため、実施を見送った。情報の受発信機能の充実として、毎月1回のまちみらいニュースの発行や千代田 day' s、ちよっぴーを運用している。新公益法人への移行準備については、引き続き主務官庁である東京都との連絡を取りながら準備を進めているところである。

続いて、収支決算報告の前に、まず平成22年度の財務諸表の変更点について説明する。これまで一般会計、住宅管理事業特別会計、経営基盤安定基金特別会計の3つの会計に分かれていたが、公益法人への移行へ向け会計を1つにまとめた。公益法人へ移行後は、法人会計、収益事業会計、公益目的事業会計に分かれる予定である。また、21年度までは簿価による評価を採用していたが、22年度より時価による評価を行うこととした。それに伴い保有する有価証券の保有目的を満期保有目的有価証券からその他有価証券として、有価証券に一定の評価益が生じた場合に売却により評価益の利益確定を行うことができるようにした。

収支決算について、まず貸借対照表から見る財団の財務状況を報告する。短期的な支払能力については、流動資産が流動負債を上回っているため、経営は安定している。また、固定資産が正味財産を上回っているが、固定資産のほとんどが債権及び定期預金のため、資金的に問題はなく長期的にも経営は安定している。負債についても返済する必要がある負債を正味財産が大きく上回っているため、経営は安定している。

引き続き、正味財産増減計算書から見る財団の財務状況について報告する。まず債券等については、時価評価への見直しを行ったため、簿価で計算していた昨年度に比べ4千2百万円ほどの評価損が発生した。しかし、保有している債券については償還時に額面で償還されるため、今回発生した評価損は償還時に解消される。一般正味財産増減の部では、債券の評価替え等により経常収益及び経常費用等の増減が6千4百万円の減となった。指定正味財産増減の部では、受取寄付金の誘導協力金制度が区へ移管されたため、入金が0円となった。また運用益として4千万円増加したが、一般正味財産への振り替えや債券の評価替えにより4百万円の減となった。よって、正味財産期末残高は16億7千万円余りとなり、昨年度より6千8百万円の減となった。

以上のように説明を行い、監事監査において承認されたことを報告し、出席理事に諮ったところ、全員異議なく議決した。

なおその際、次のような質疑応答や意見があった。

○千代田区マンション理事長連絡会の加入者が45名とあるが、対象の区内分譲マンション約370棟に対して非常に少ない。これは周知が行き渡っていないから

なのかもしれないが、根本的に集合住宅は我が物という意識が低い傾向にある事が要因として考えられる。

このような傾向の中で加入者を増やすのは大変であるが、区内居住者の約8割が集合住宅に居住しているということ、また集合住宅においては何か問題が生じてから紛糾するケースが多々あること等を考えると、事前の問題提起等の場である理事長連絡は財団でなければ出来ない仕事として、より積極的に取り組んでいくべきである。

(事務局)

マンションは私有財産ということもあり、行政ではなかなか取り組みが難しいところがある。マンション対策はまさに財団が果たすべき役割であり、財団の存在意義を表に示すことができる分野だと考えている。その一環である理事長連絡会はまだまだ加入者数は少ないが、今後一層周知を徹底し、積極的に取り組む事業と位置付けている。

- 大きな震災があった後だけに関心を集める機会であると思うので、防災というキーワードを絡めながら周知し、財団の取り組める範囲を位置付けていくと良いと思う。

(事務局)

都心部でマンション建築が始まって以来30～40年が経過し、良好な維持管理というのは大きな課題であるが、今回の震災でより一層である。

財団としては、これまで以上に比重を置いてマンション対策に関して事業を展開していかなければならないと考えている。

- 理事長連絡会での問題提起は誰が行うのか。

(事務局)

世話人を含めた事務局側で問題提起を行う。

- 廃止していく事業や予算に対してほとんど執行出来ていない事業が出てきている。財団の存在意義をしっかりと詰め、事業の目的と計画を位置付け、今後の方向付けをしていってほしい。

(3) 議案第3号 財団法人まちみらい千代田評議員の選任について

配付資料に基づき、事務局から次のような説明を行った。

当財団では、区内マンションを中心に地域居住環境の整備支援を一つの柱として事業を推進している。今後一層の事業展開を図るため、寄附行為第31条の規定に基づき、鳳凰企画代表の山口修一氏を評議員候補として提案する。

この提案を出席理事に諮ったところ、全員異議なく議決した。

8 閉 会

以上をもってすべての審議を終了したので、午前11時10分に議長は閉会を宣言し、解散した。

上記の決議を明確にするため、議長及び議事録署名人2名がこれに署名、押印する。

平成23年5月27日

財団法人まちみらい千代田
平成23年度第1回理事会

議 長 若 林 尚 夫 ⑩

議事録署名人 堀 田 康 彦 ⑩

議事録署名人 末 川 文 昭 ⑩